

カンボジア情報

図書館

国立図書館

ホテル・ル・ロヤル (Hotel Le Royal) の右隣
ウェブサイトなし (→オンライン検索不可能)、館内 OPAC で検索可能

建物は3つに分かれている。

中央：内戦後の図書、逐次刊行物

左：内戦時の逐次刊行物、植民地時代の図書

右：事務所

内戦前の逐次刊行物の一部が PDF でオンライン公開

公文書館(National Archives of Cambodia) (<http://nac.gov.kh/en/>)

オンライン・カタログもあるはず

使用料要 (一ヶ月)、館内にコピー機あり、撮影可

クメール研究所(Center for Khmer Studies)図書室

(<http://ckslibrary.khmerstudies.org:8080/newgenlibtxt/>)

フランス極東学院シェムリアップ支部図書室 (<https://www.efeo.fr/base.php?code=265>)

仏教研究所図書室 (<http://www.budinst.gov.kh>)

クメール語のみ、OPAC 検索は可能な模様

ポルポト時代に蔵書の殆どは喪失。内戦後のものだけ。

Cambodia Development Resource Institute 図書室 (<https://cdri.org.kh>)

上院図書館(Senate Library) (<http://senate.gov.kh>)

クメール語のみ

国立博物館図書室

(https://cambodiamuseum.info/en_projects_activities/research%20library.html)

書店

Monument Books (<http://www.monument-books.com/bookshop/>)

カンボジア関連書籍、インドシナ関連書籍、東南アジア関連書籍あり。オンライン購入可能（海外郵送は？）

International Book Center (<http://www.abc.com.kh/Books/>)

クメール語の本が多い

Kinokuniya (<http://kinokuniya.com.sg/cambodia/>)

イオンモール二号館に進出、カンボジア国外で出版された英語本

新聞

Phnom Penh Post (<https://www.phnompenhpost.com>)

マレー資本による買収後、与党寄りへ

The Cambodia Daily (<https://www.cambodiadaily.com>) 英語版

2017.9.27 に廃刊。海外からオンライン発信

Rasmei Kampuchea (<http://www.rasmeinews.com>)

クメール語紙、よく見かける。

Koh Santepheap (<https://kohsantepheapdaily.com.kh>)

クメール語紙、老舗

雑誌

Kampuja Suriya (王立図書館→仏教研究所)

仏教、文学、民俗学、歴史

2004 年前後から休刊

Sveng Rok Kapet (Searching for the Truth)

クメール語と英語の月刊誌。虐殺に関するもの

Documentation Center of Cambodia (<http://www.truthcambodia.com>) が発刊

Udaya

Journal of Khmer Studies (<http://www.yosothor.org/udaya/index.php/ujs>)

Cambodia Development Resource Institute の報告書（英文もあり）

政治経済、開発

Reyum Institute の出版物（クメール語と英語）

芸術、文化、社会、民族

The Popular Magazine (<https://www.pmhotnews.com>)

大衆誌

国家による監視、検閲

Phnom Penh Post 編集部入れ替えのように穏便に統制

フェイクニュース取締を理由とした政権批判取締